

関中央ロータリークラブ

国際ロータリー第2630地区 東海北陸道グループ



2024～2025 年度 関中央ロータリークラブ 会長テーマ

「奉仕の実践を通じ、求められ、

必要とされるロータリアンに」

例会日：毎週木曜日 18時30分

例会場：関観光ホテル 岐阜県関市池尻 91-2

会長：大藪 太

副会長：土屋 敏幸

幹事：後藤 政之

会報：北原 慎

事務局：岐阜県関市下有知 1655-1 山田ビル 1-D

TEL (0575)24-7332 FAX(0575)23-5278

前例会の記録 第2150回

2024年8月8日(木)

「C. A 新年度活動方針」

場所 例会場(関観光ホテル)

担当 会長・幹事

本日のプログラム 第2151回例会 2024年8月30日(金)

オープン例会

担当：会員基盤増強維持委員会

卓話 山下 清司 関市長

テーマ 市長就任一年を振り返って

～ 「しあわせなまち」を未来へつなぐ ～

*ロータリーソング「我等の生業」斉唱

*会長あいさつ 大藪 太 会長

皆さん、こんばんは。今日の例会は「C・アッセンブリー 新年度活動方針」の発表です。発表される委員長の皆さん、よろしくお願ひします。さて、7月26日からフランスで開催されているパリオリンピックですが、あと3日で閉会式を迎えます。日本人選手も頑張っていますが、パリはロンドン(1908, 1984, 2012)に次いで、夏季オリ



ンピックを3度開催した2番目の都市となります。パリで最初に夏季オリンピックが開催されたのは1900年、開会式や閉会式は行われず、オリンピック史上初めて女子選手が出場した大会でした。2回目に開かれたのは1924年、今から100年前ですが、オリンピックを2度開催した初めての都市となりました。そして、今年パリは3度目のオリンピックを開催したわけですが、3回の夏季大会に加え、シャモニー、グルノーブル、アルペールビルで開催された3度の冬季大会を加え、フランスで開催さ

れる6回目のオリンピックとなります。今回の大会では32競技、329種目が行われますが、その中でオリンピックデビューとなるのが、ブレイキンです。ブレイキンはブレイクダンスの競技形態で、フットワークに加えてバックスピンやヘッドスピンなどの動きを含みます。選手は技術力、創造性、スタイル、スピード、力強さ、リズム、敏捷性など様々な基準で審査されます。ブレイキンは、ブエノスアイレスで2018年に開催された夏季オリンピックで大好評を博し、2020年12月には、サーフィン、スケートボード、スポーツクライミングと共に、パリオリンピックに正式に追加されました。国際オリンピック委員会 (IOC) の理事会でパリ五輪のプログラムが決定されると、その後の記者会見でトーマス・バッハ会長は「これらの競技が加わることで、オリンピックはより男女のバランスがとれ、より若々しく、より都会的なものになる」「私たちには明確な優先事項があります。それは、若い世代に特に人気のあるスポーツを導入することです。また、スポーツの都市化も考慮しています」と述べています。平たくいえば若者のオリンピック離れが進む中で、若者の関心をくい止めるための新種目追加だと思いますが、私のような年齢のものと見ると、遊びの延長にもみえるブレイキンやスケートボードで14歳15歳の選手が優勝するのを見ると、体操選手、柔道やレスリング選手が血のにじむような練習をして勝ち取った金メダルと同等の価値があるのかと、思わざるを得ません。こんなことを思うのは歳を取った証拠でしょうが、思う、思わざるにかかわらず、時代と共にオリンピックのありようも変化していくものだと思います。

今回、サーフィン競技が開催するのは、フランス領ポリネシア最大の島、タヒチです。パリからの距離は 15,700 キロで、メダルイベントの会場としては、歴史上開催都市から最も離れた場所になります。国際サーフィン協会のフェルナンド・アゲル会長は、オリンピック開催地としてタヒチを選んだことは「創造性と革新性というパリ2024の精神を証明するものだ」と語っています。また今回の大会では史上初めて、オリンピックとパラリンピックで同じエンブレムが使用されることになりました。これは2つのイベントに対して同じ志を持っていること、オリンピックとパラリンピックの選手達を同じレベルにすること、そして祭典やレガシーの面でも同じ方法で大会を祝う

ことを意味しているといわれています。そして、オリンピックでは初めての試みとして、男子マラソンが終わった数時間後に市民マラソンが開催されます。パリ五輪のウェブサイトには「このイベントでパリ2024はフランス中の人々に対して、アスリートとしての心構えやオリンピックの価値観に触発され、それらを日々の生活に取り入れることを呼びかけています」パリオリンピックは史上初めて男女同数(男女とも5250人)が参加します。1896年の第1回アテネ大会は男子のみで行われ、第2回パリ大会では 2.2%(22人)の参加だったことを思うと隔世の感がありますが、あと3日、日本選手の更なる活躍を期待します。

＊7月度 IGM 報告レポーター 吉田 和也 会員

本日は7月30日に行われた IGM の発表をさせていただきます。カウンセラーに大藪会長、情報委員の喜久生先生、世話役に伊佐地さん、レポーターに長谷川さんでしたが欠席でしたの



でピンチヒッターとして私がレポーターを務めさせて頂き、前田さん、浅野先生の6名で、場所はしょうりゅうにて行われました。中華料理でしたので台湾を思い出しながら紹興酒を頂きながら IGM が行われました。カウンセラーの大藪さんから新入会員の浅野先生に IGM とは少人数でぎくばらんに情報交換を行いロータリーの事を話し合う集いとの趣旨説明が行われ、今回は自由テーマという事で、乾杯の後 IGM が始まりました。いつもは会員増強の話になりやすいのですが、今回は浅野先生がおみえでしたので市政についてのお話を聞かせて頂くことができました。その中で人口減少のお話をされ、関市はここ20年の間で約1万人、人口が減っているとのことで、特に上之保、板取地区の人口減少が著しいようです。私の住んでいる東部は区画整理が行われ新設住宅も増えて人口は増えておりますが、中心の市街地では核家族化の影響の為か減少しドーナツ化現象となっているようです。これも市街地の若い世代が、東部の新しい土地に流入し、東部地区の人口が増えている要因の一つかもしれません。そんな中、学校の運営も児童の減少から色々な問題を抱えているようで、富野地区の児童が旭ヶ丘地区に通学する案があるとか、学校規模適正化計画により、小規模学校の小中学校の

統合、又、小学校1年生から中学校3年生までの義務教育の9年間を一つの学校で授業をする義務教育学校の構想もあるようです。インバウンドなどの観光需要についても、関市は色々な観光資源はあるが、一つ一つの滞在時間が短い傾向があり、もっとインパクトのあるランドマーク的なものが必要とお話になり、市の現在の状況について、大変色々な事を学ばせて頂き勉強になりました。ロータリーの事に関しましては、最近の行事を簡素化する傾向について、不易流行の諺の様に、時代によって変えて行く事は悪いことではないが、伝統として引き継いでいくものは変えてはいけない厳粛なものとして、もっとしっかりと伝達し行わなければいけない。とご指摘を受けました。このような大変勉強になるお話を頂きながら、紹興酒も効いてきて楽しい時間を過ごさせて頂きお開きとなりました。

*C. A 新年度活動方針

*職業奉仕委員会 伊佐地 司 委員長

今年度、職業奉仕委員長を務めさせていただきます。一年間どうぞよろしく申し上げます。副委員長に波多野篤志さん、委員に前田仁夫さん、尾崎将之さんです。



【基本方針】 職業上の高い倫理基準を保ち、会員が自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てることによって、社会に奉仕することを推進する

【事業計画】 1.職場例会を実施する 2.職業奉仕担当例会に卓話を実施する 3.奉仕活動に協力する 職業奉仕委員長は6年ぶり2回目となりますが、私自身、未だ職業奉仕については難しいイメージ、理解不足だと感じておりますので、皆さんと共に職業奉仕について理解が深められるよう努力していきたいと思っております。皆様には委員会活動にご理解とご協力をお願いします。

*会場監督 川上 勉 委員長

会場監督をSAAと呼ぶのはなぜか？ SAAとは、Sergeant at Arms の略で、「武装した護衛官」という意味です。その起源は中世イギリスの封建君主が、身辺護衛のため任命した武装士官に始まると思われまふ。その後議会制度ができてから、議院の命令を執行し秩序を維持する役人を呼ぶ名称とな



りました。さらにアメリカ合衆国でも上下両院等立法機関で同様の役目を果たす人を、SAAように呼ぶことになったそうです。ロータリーでは、SAAを「会場監督」と呼んでいます。クラブ例会をはじめ、すべての会議、会合(国際大会・国際協議会・地区大会・地区協議会・IM等)が、楽しく、秩序正しく運営されるよう、常に気を配り、気品と風紀を守り、会合がその使命を発揮できるように設営、監督する責任と権限を有する重要な役目です。SAA委員は、ビジター・来賓・地区および他クラブ役員への誘導・会員への紹介をするのですが、本クラブでは会長が行っています。又、例会場への入場・退場許可、遅刻・早退の承認・許可、卓話中の私語に対する警告等を行います。

【活動方針】

例会をはじめとするすべての会合が、明るく楽しい雰囲気の中にも秩序正しく運営されるよう常に心を配り、クラブの気品と風紀を守りつつ、会合がその使命を発揮できるように設営と進行役を務めます。

【実施計画】

- (1) 例会運営が開始から終了まで円滑に進むよう、親睦活動委員会と協力して努めます。
- (2) 会長・幹事や各委員会その他の報告・連絡事項が正確になされるよう気を配ります。
- (3) ゲスト・ビジター及び会員の例会途中の入退出の際にもSAAとして気を配ります。当然私語に対しても同様です。
- (4) 例会出席者数を把握し例会食の無駄を防ぎます。
- (5) 毎月の担当者を決め順番にSAAを務めます。

*クラブ会報、青少年育成委員 北原 慎 委員長

今年度クラブ会報委員会委員長と青少年育成委員長の北原です。今年1年よろしくお願いいたします。まずはクラブ会報委員会から副委員長に波多野篤史さん、委員に河村紳一さん、林剛司さんです。



【基本方針】 毎週会報を作成し、例会の内容情報等がわかるように全会員にメール配信する。また会員相互の親睦を含められる会報作成に努める

【事業計画】 1.画像等の取り込み、見やすい会報作成に努める 2.他クラブの会報などを参考により良い紙面

作りに努める 3.例会の内容以外に有益な情報があれば、盛り込む

私自身がロータリークラブに入会して会報を始めて頂いた時に会報があるとゆうことにまず驚いたのを覚えています。例会をするだけでなく、記録に残し見返せるようにしてあることに会の品格と歴史の積み重ねを感じました、その後気になったのは自分の写真写りですので、少しでも良い写真が撮れるよう腕を磨こうと思います。あと会報に乗せる記事の原稿も皆さんにもご協力いただきますようこの場をお借りしてお願いいたします。

*青少年育成委員会

副委員長に古田育則さん、委員に山田文夫さん、尾崎将之さんです。

【基本方針】次世代を担う青少年の健全、育成のために地域社会と連携を図り、支援協力をする

【事業計画】 1.インターアクトクラブに協力する 2.関市発明工夫展児童生徒科学作品展に協賛する 3.関市スポーツ少年団事業に支援協賛する 協賛事業に関しては青少年育成にかかわる大切なことと考えますので継続的に協賛していこうと思います。

*国際奉仕委員会 波多野 篤志 委員長

国際奉仕委員会の活動方針の報告をします。今年度の基本方針、事業計画共に前年と同じです。



【基本方針】・国際奉仕活動を積極的にを行い、国際間の理解・親善・平和を促進する。・会員の意識高揚に努める

【事業計画】 1.台湾の姉妹クラブと共に青少年交換活動を積極的に推進する 2.関商工と景文高校との交流を援助する 3.姉妹クラブと協力して、国際奉仕活動の模索及び計画をする

前年度は、コロナ過により途絶えていました、台北南隆ロータリークラブとの交流を再開し、景文高校と関商工の交換学生事業を行いました。皆さんのご協力のおかげで、12月に関商工の生徒11名と校長先生を含む教師3名を台湾の景文高校で3泊4日の交流を行うことが出来、大変両校の親交が深くなりました。また、台湾の景文高校の生徒も日本の関商工に訪れたいとの思いから、本年6月に生徒12名、校長を含む教師2名で関商工に来て日本文化を体験されました。関商工では、これ

に刺激を受け、「私も台湾に行きたい」とか「交流したい」と思う生徒が増えたと聞いています。今期の活動は、前期6月に台湾から景文高校の生徒が来ましたので、来期12月に関商工の生徒を連れて台湾に行く順番になります。しかし、関商工と景文高校の校長先生同士の話し合いと、南隆ロータリークラブの事情により、今期6月に景文高校が日本・関商工に来る可能性が有ります。今後の打ち合わせで決まるとお思いますので、よろしくお願いたします。この事業は、先人の作ってくれた他のクラブでは中々無い、当クラブの代表的な国際事業です。今後も継続して行えることを期待しています。また、この事業を通して、新しい会員の皆さんにも参加していただき、他クラブには無い当ロータリークラブの魅力と活動意義を理解していただき、会員増強に繋げていっていただきたいと思ひます。また、国際奉仕活動の模索及び計画をするとなつていますが、この国際交流を通じて、世の中の為にできる良い活動を今後も模索していきたいと思ひています。皆さんのご協力をよろしくお願いたします。

*ロータリー財団委員会 川村 紳一 委員長



【基本方針】ロータリー財団の使命は「ロータリアンが人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて世界理解、親善、平和を達成できるようにすること」です。この使命をもとに次の具体的な活動を実践する。・財団寄付の推進・人道支援事業への積極的参加と推進・ポリオ撲滅活動の推進・財団補助金の有効活用。

先月 7/27、財団研修セミナーに出席しました。財団のトップ、ダニエル・マローニーさんの言葉「財団の活動とは、納めることと使うことである」寄付は、1人 年150ドルの年次寄付と 30 ドルのポリオ・プラス寄付で運営されています。当クラブも財団寄付の推進と財団補助金の有効活用を基本方針にあげています。補助金対象となる事業は人道的プロジェクト、奉仕プロジェクト、奨学金に使用できます。また、「財団の使命」に関してのこと、ロータリーに対する地域のニーズを掘り起こす事業に使用すると定義されています。当クラブは前年度、食育に関する事業で地区補助金を活用しました。地区補

助金支給額は3年前の年次寄付金に応じて決まります。当クラブは150ドル以上200ドル未満で限度額10,000ドルとなります。地区補助金の利用状況ですが、2021-2022年度は21プロジェクトでした。2022-2023年度 財団寄付の状況は東海北陸道6グループの平均145.74ドルでした。また、2024-2025年度 地区補助金申請は19プロジェクトのうち東海北陸道グループでは美濃、各務原の2クラブです。今期の申請は終わっていますので、来期の会長エレクトの方針を聞きながら社会奉仕委員長等々と早めの企画をはじめ、2025年1月31日の期限までに申請手続きをしたいと思えます。皆さんのご協力をお願い致します。もう一つはロータリーカードの推進です。浦田ガバナー年度よりスタートしました。ダイナースクラブカードは今年4月末で73クラブ中34クラブが取得しています。東海北陸道グループでは関、郡上長良川、関中央の3クラブです。亀井ガバナー年度も全クラブの取得をお願いしたいとのことです。また、マスターカード、個人のスタンダードカードは年会費無料、利用額0.3%がポリオ根絶支援金にまわります。個人カード取得のご協力も宜しくお願いします。

***国際青少年交換委員会 高井 良祐 委員長**

ロータリー国際青少年交換プログラムの派遣費用についてお話しします。出発までの研修費用、往復航空運賃(1年オープン)、ビザ・パスポート取得等渡航手続き費用、生命・傷害保険加入費用、予防接種費用、衣料費(制服代・ロータリーブレザー含む)、派遣先で開催される旅行費用、若干の所持金等、帰国までの費用総額は派遣国により異なりますが、80万円から120万円程度が自己負担となります。以前は、クラブに謝礼金30万円を頂いていたと思います。滞在中の生活費、学費、毎月の小遣い(\$100程度)は派遣先ロータリークラブが負担します。青少年交換プログラムですので学生の受入が必要となり、クラブ内で1年間のホストファミリーをお願いしなければなりません。留学生をホストすることは分からない事もありますが、また、それが楽しみでもあります。海外生活を通して国際理解、平和、親善の意義を習得したい熱い思いのある高校生に応募して頂きたいです。クラブ創立48年目、今までに受入学生38名、派遣学生36名の実績も2013年依頼、10年間途



絶えています。会員のお子様、お孫様にお話してみてください。担当委員として説明に伺いますので、よろしくお願いいたします。

***親睦活動委員会 委員長 林 剛司**

【基本方針】 クラブ事業を支える親睦活動は非常に大切な意味を持っています。クラブ会員及び会員家族の繋がりを促進することは、素晴らしいクラブの成長と発展につながります。本年も会員相互の一層の親睦を深められるよう活動いたします。



【事業計画】 通常総会懇親会、年次総会懇親会、新春・結婚記念日例会、3クラブ合同お花見例会、親睦家族旅行、クラブ創立例会、夫人誕生日のお祝い、同好会の活動サポート

***その他委員会報告**

・会員基盤増強維持委員会

8月6日(火) 関観光ホテルにて 委員会を行いました。

***幹事報告**

8月5日(月) 美濃緑風荘にて 東海北陸道グループ幹事会を行いました。

***出席委員会**

会員数30名、本日の出席17名です。

***ニコボックス委員会**

会長、幹事、副会長

新年度活動方針を発表していただく委員長の皆さん、よろしくお願いいたします。

林剛司会員

岐阜城北高校、よく頑張りました。長男が城北高校の野球部に所属しており、昨日、甲子園へ応援に行ってきました！感動をありがとう！

17名のご投函ありがとうございました。

<次例会の案内>

第2152回 9月3日(火)

ガバナー公式訪問 3RC 合同例会

場 所： 関観光ホテル

担 当： 会長・幹事